

<事例1>

- 【題材名】 第5学年 国語科「きいて、きいて、きいてみよう」
- 【内容】 Chromebook を使用して、話し合いの様子を記録して振り返りで活用する。
- 【使用アプリ】 Chromebook のカメラ
- 【事例紹介】 3〜4人のグループになり、「聞き手」「話し手」「記録者」の役割に分かれてインタビューをし合う。そのインタビューの時に、「記録者」が Chromebook のカメラを使用して動画を撮影する。インタビュー終了後、その動画を活用し、話し合いのポイントについて振り返りを行う。



話し合いの様子を Chromebook のカメラを使って記録する。



動画を見ながら、話し合いや「聞くこと」のポイントについて振り返る。

【解説】 話し合いの様子を動画で記録することで、自分たちの様子を客観的に分析することが可能になる。撮影した動画は必要に応じて静止でき、良いと思った発言やポイントなどを取り上げながら振り返られる点良かった。教師側が手本となる班の話し合いの様子を提示することで、話し合いや「聞くこと」のポイントについてより深く考えることができた。

<事例2>

- 【題材名】 第5学年 学級活動「地震が起こったときの行動～初期対応と二次対応～」
- 【内容】 Google スライドの共同編集機能を使用し、妻鳥小学校避難マニュアルを作成する。
- 【使用アプリ】 Google スライド、タブレットのカメラ、zoom
- 【事例紹介】 昼休みに地震が起こったことを想定し、自分たちの災害時の行動について視覚的に分かりやすく Google スライドを活用してまとめる。その後、自分たちが考えた災害時の行動マニュアルをグループで話し合う。また、各グループから出された意見を集約するために、スライドのコメント機能を活用し、より安全な避難経路や行動を考えるための手立てとした。



Google スライドにあるコメント機能を活用し、各班の改善策を記録、共有。



話し合われた改善策を活かして、より安全な避難経路や行動を再考する。



妻鳥小学校災害マニュアル

zoom を使って、鳴門教育大学の阪根先生と教室をつなぎ、防災の大切さやポイントについて話して頂いた。



初期対応

初期対応

コメント

ありがとうございます。私の方でもないですが

【解説】 各グループの意見を集約し共有することで、多角的に物事を考えることができた。Google スライドのコメント機能を活用することは、普段意見を発表しにくい児童が自分の考えを発言する手助けとなる。いろいろな意見に児童が触れられ、自分たちの災害マニュアルをより良いものに再考する際の視点を広げることに繋がった。また、鳴門教育大学の阪根先生に、zoom を活用し防災の専門家として話をさせていただき、より深い学びへとつなげることができた。

<事例3>

【題材名】 第6学年 音楽科 鑑賞

【内容】 鑑賞での感想や気付きを Google Forms を活用し、児童に記入したものを提出する。

【事例】 今回鑑賞ではフォームを活用し、「GIGA スクールはじめて日記」(さくら社)に紹介されていた、「AIテキストマイニング」による分析をした。感想や意見を集約して大型提示装置に表示し、学級全体で共有することを行った。



タイムスタンプ	名前	①の旋律で感じたことを書きました。	②の旋律で感じたことを書きました。	③の旋律で感じたことを書きました。
2021/05/18 10:58:03	北大地	聴くのが好きだった。	2つの音が響いている感じがした。	2つはつながらない感じがした。
2021/05/18 11:09:10	眞崎は	良かったがその後は悪くなった。	気持のいい感じでもあった。	悪くなったか悪くなったか変化がある。
2021/05/18 11:09:40	北大地	聴くのが好き。	2つの音が響いている感じ。	響かない感じがした。
2021/05/18 11:09:45		音が大きく、響く感じがいい。	低い音で、同じ音が繰り返していた。	かっこよくて、したいけど大きすぎた。
2021/05/18 11:09:11		聴きたくて聞きたかった。	聴きたくて聞きたかった。	聴きたくて聞きたかった。
2021/05/18 11:09:19		インパクトが良かった。	音が大きすぎて聞き取れなかった。	音が響いて良かった。
2021/05/18 11:09:19		音が響く、びっくりしました。	同じ音が繰り返している、それ以外が、響いている。	聞いていて気持ちよかったです。
2021/05/18 11:09:20		ワクワクするような感じがする。	響きあがるような感じがする。	響きあがるような感じがする。
2021/05/18 11:09:21		聴くのが好きで、聴きたいです。少し、聴きたいです。少し、聴きたいです。少し、聴きたいです。	聴くのが好きで、聴きたいです。少し、聴きたいです。少し、聴きたいです。	聴くのが好きで、聴きたいです。少し、聴きたいです。少し、聴きたいです。

【解説】 児童から出された Forms からスプレッドシートで回答を集め、「AIテキストマイニング」のホームページ (Google で「AIテキストマイニング」で検索可能) の枠内にコピーした言葉を貼り付け、ボタンを押すだけで、下のような結果が出てくる。動詞、名詞等で色が違っていたり、頻出度の多い単語が大きくなったりする。また、設定されている機能により、単語に重み付けをした分析で結果が出せ、さらに違った活用ができる。これにより、瞬時に自分たちの感想や意見が集約され、視覚的に表示できることで自分の意見に納得したり、他に感じたり考えたりしたキーワードが共有できたりと大変有意義であった。



(教育委員会主幹講評) 事例 2 の活動は5年生で毎年行われている活動のようですが、1人1台端末の活用で、危険場所の撮影や Google スライドの共同編集機能等で効率よく活動ができたと思われます。また、完成したマニュアルの印刷も学習系のカラープリンターが威力を発揮したのではないのでしょうか。鳴門教育大学の阪根教授の講話も子どもたちの心に響き深い学びとなったようですね。事例3の音楽の「鑑賞」では、鑑賞した曲の子どもたちの感じた印象を「AIテキストマイニング」で「見える化」をして曲の感じを共有されていました。各事例とも1人1台端末を有効に活用されていることが伝わってくる事例です。